

事業所名		プラス・ワン各務原（児童発達支援びらすの森2nd）		支援プログラム		作成日		2026 年		10 月		1 日	
法人（事業所）理念		子ども一人ひとりの個性と可能性を尊重し、成長を支える環境を提供します。安心して過ごせる場所で、遊びや体験を通じて社会性や自立心を育み、自己表現とコミュニケーション能力を高めることを目指します。また、地域社会とのつながりを大切に、保護者と連携しながら、子どもの未来に向けた支援を行います。											
支援方針		一人ひとりに寄り添い、遊びや体験を通じて「できた」という成功体験を積み重ねながら、自信や意欲を育んでいける支援を行います。また、保護者との信頼関係を大切に、ご家庭や関係機関と連携を図りながら、将来を見据えた切れ目のない支援を提供します。											
営業時間 (サービス提供時間)		9 時 00 分 から 18 時 00 分まで (9 時 30 分 から 14 時 30 分)				送迎実施の有無		ありなし					
		支 援 内 容											
本人支援	健康・生活	療育活動例 ： ライフスキルトレーニング、食育、クッキング 等 子ども達の就学後を見据え、「自分でできることを増やす」を目標に、着替え、排泄、食事、片付けなど日常生活に必要なスキルを身につけることができるよう丁寧に支援します。											
	運動・感覚	療育活動例 ： 運動あそび、ビジョントレーニング、製作、感触遊び、リトミック 等 全身を大きく動かす粗大運動や、指先を細かく使う微細運動、五感を使う活動を行っています。 子ども達の「できた！」「もっとやりたい！」を大切にしながら、一人ひとりのステップに合わせて達成感を感じることができるよう支援します。											
	認知・行動	療育活動例 ： 言葉あそび、カードあそび、ルールあそび 等 療育玩具を用いて言葉への興味付けをしながら、語彙力・表現力・思考力を育成していきます。 スモールステップで繰り返し取り組むことで、達成感、自己肯定感を得ることができ、また意欲を育めるように支援します。											
	言語コミュニケーション	療育活動例 ： 読み聞かせ、言葉あそび、 等 身近な事柄や自分の気持ちを伝える活動を通して、語彙を増やし、言葉の理解力と表現力を高めます。 活動や遊びを通して、話を聞く力・伝える力を育て、友達とコミュニケーションをとる楽しさを感じることができるよう支援します。											
	人間関係 社会性	療育活動例 ： 公園へ行こう、ルール遊び 等 職員と一緒にルールのある遊びを通して、友達と関わる楽しさや、簡単なルールが学べるよう支援します。また、交通ルールなど、暮らしの中にあるルールも学べるよう支援します。											
家族支援		・活動の様子や学習の様子を毎回お知らせします。 ・家庭や事業所での様子を共有しながら、困り感には適宜助言を行うなど、保護者の気持ちに寄り添い、安心してご利用いただけるよう努めます。				移行支援		それぞれのライフステージに応じて、園や家庭と支援目標、現在の状況、支援方法を共有しながら、事業所外でも同じ方向性を持って対応できるよう共通理解を図ります。					
地域支援・地域連携		・相談支援事業所や各園等と連携を図りながら、切れ目のない継続的な支援をしていきます。 ・地域資源を保護者に紹介することで、活用していただけるようお手伝いさせていただきます。				職員の質の向上		・職場内研修(特性の理解・虐待防止・身体拘束・感染症対策・非常災害対策 等)を月に1回以上行っています。 ・施設外研修にも積極的に参加することでスキルアップを図ります。					
主な行事等 (年間予定)		【春】お花見 子どもの日 【夏】夏まつり 七夕 水遊び 【秋】ハロウィンパーティー 秋の味覚を味わおう 【冬】クリスマス会 初詣、正月遊び 節分の行事											